

*The Choir*  
**Nukku**

Vol.2

*10th Anniversary*

合唱団 ぬっく 第2回演奏会

ごあいさつ

## Greetings

本日はご多忙の折、合唱団 ぬっくの演奏会へお越しいただきありがとうございます。

自主演奏会は、2018年以來、5年ぶりの開催となります。若さとともに突き進んでいた学生中心の団体はどこかに消え、今では半分以上のメンバーが社会人となりました。コロナなどの困難もある中で、それでも活動が続けることができているのは参加してくれるメンバーの力(大分や愛媛、愛知から参加のメンバーもおります!)や、ご家族や関係者方の大きなサポートのおかげです。心より感謝を申し上げます。

ぬっくがスタートしたのは2013年の6月ごろのことです。

出だしはまさしく「とりあえずやってみよう」という感じで、本番直前の4日間ほどで猛練習をし、東京都合唱コンクールにてデビューをしました。今でも受け継がれる伝家の宝刀、ぬっくの本番前の怒涛の追い上げは、創立当初からの色であった模様です。

気づけば10年が経ち、私もアラトウエからアラサーになりました。(汗)

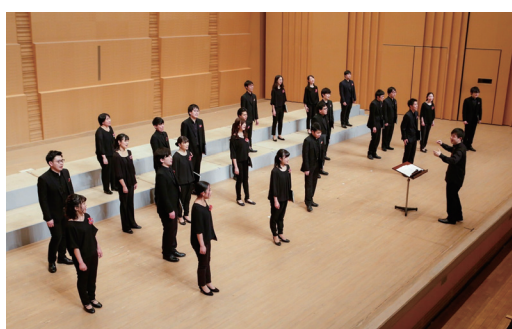
その間に素敵な仲間たちと出会い、悲喜こもごも、たくさんの代えがたい経験を味わってきました。声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島)や「アルティ声楽アンサンブルフェスティバル」(京都)などで各地へ泊りがけで遠征をしたこと、作曲家の方にレッスンに来ていただいたこと、練習後の愉快的な飲み会でのこと、数えだすとキリがないほどに濃密な思い出が詰まっています。

今日はぬっくにとっての10歳のお祝いの日です!

たくさんの方々にご協力いただき、委嘱初演作品や思い出の作品など盛りだくさん、楽器奏者の方とのコラボレーション。どのステージにも並々ならぬ想いがこもっております。

これまでのことを少しだけ思い出しながら、  
でも未来をちょっとだけ夢想して、笑顔で歌います。

合唱団 ぬっく 主宰・指揮  
服部 純也

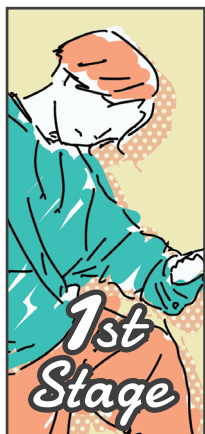


### ● 合唱団 ぬっく

合唱団 ぬっくは、「ぬっくりぬくぬく」と歌うことをモットーとして、2013年6月に首都圏の大学生を中心に創立した混声合唱団です。「ぬっく」という名前は「心地よい隠れ家」という意味を持ちます。母体が無い寄せ集めの合唱団の良さを活かし、個性豊かで愉快的な仲間が古今東西様々な曲を歌いながら、作曲家や演奏家とのコラボレーションを試み、良いうたを歌うべく活動しています。月に3回土曜日の夜に東京都千代田区などの施設で活動しています。

# 合唱団 ぬつく 第2回演奏会

## Program



### 無伴奏混声合唱組曲「春が来たなら」 委嘱初演

立原 道造 詩／山下 祐加 作曲

- 春が来たなら
- ゆうすげびと
- 永い午後
- 真冬のかたみに .....
- しあわせな一日は

～intermission(休憩)～ 10分



### 10周年ア・ラ・カルト

- Ave Maria Jacob Arcadelt 作曲
- Bohoroditse Divo Roman Hurko 作曲
- Ave Maria 委嘱初演 東 浩平 作曲
- 島唄 宮沢 和史 作詞・作曲／信長 貴富 編曲
- Nyon Nyon Jake Runestad 作曲

～intermission(休憩)～ 15分



### 覚和歌子の詩による横山潤子作品集

覚 和歌子 詩／横山 潤子 作曲

- たましいのスケジュール
- その木々は緑 ヴァイオリン伴奏付き
- 夜明けの夢はもう惜しまない チェロ伴奏付き 委嘱初演
- ようやく朝が チェロ伴奏付き
- こころのうつわ

指揮：服部 純也 ピアノ：宮地 亜論 ヴァイオリン：三好 花奈 チェロ：永田 歌歩



# 1st Stage



## 無伴奏混声合唱組曲「春が来たなら」

委嘱初演 立原 道造 詩／山下 祐加 作曲

ぬっくは、第1回演奏会のアンコールで『しあわせな一日は』を演奏しました。この作品はメンバーやお客様の心を打つ素晴らしい小品で、私たちにとって大切な愛唱歌となっています。

24歳で結核のため亡くなった夭逝の詩人、立原道造。敬愛する彼のことを調べるなかで、彼が求めた「若い情熱」や「生きること」をテーマとした新作合唱曲の委嘱を発起し、思い切って山下祐加先生に相談させていただきました。膨大な立原道造の詩から印象に残った25篇ほどをメンバーで選び、山下先生と数人のメンバーでZOOMを使って、どのようなコンセプトで作曲いただくか、打ち合わせをさせていただきました。2020年秋ごろのことです。

その結果導かれたのが、前述の『しあわせな一日は』を終曲に置き、「季節」という時間経過をテーマにアカペラ組曲を作っていただくというものです。立原道造が印象的に用いた時間経過の描写を活かして、色彩豊かな4つの曲（春→夏→秋→冬→）を書き下ろしていただきました。全5曲の組曲は2021年の6月ごろに完成しましたが、コロナウィルスなどの影響で演奏機会に恵まれず、本日ようやくお披露目させていただきます。

ぬっくのメンバーが立原道造の享年を超え始めたのも今回の委嘱のきっかけの一つです。立原道造の想いを想像し、病床のなか生きようとした彼の姿や、自然風景の移ろいの儂さ、人々の美しさに思いを馳せて、歌います。

ぬっくのために素晴らしい新作を書いてくださった山下祐加先生、この場をお借りして感謝を申し上げます。



### 山下 祐加 (やました ゆか)

東京藝術大学音楽学部作曲科を経て、同大学大学院音楽研究科作曲専攻修了。作曲を尾高惇忠、日野原彦の各氏に師事。2011年、創作オラトリオ『李陵』（原作：中島敦）を初演。2014年、混声合唱組曲『ねむりのもりのはなし』で第25回朝日作曲賞を受賞。2019年、第2回東京国際合唱コンクール（室内合唱部門）の課題曲『雪』を作曲。2020年に発売されたCD『山田和樹 アンセム・プロジェクト 世界の国歌』（キングレコード）において編曲を担当。2021年、和歌山市民オペラ協会の委嘱によるオペラ『稲むらの火の物語－梧陵と海舟』を作曲し、紀の国わかやま文化祭2021にて初演。（この公演は第20回佐川吉男音楽賞を受賞。）合唱曲、ピアノ曲、管楽器アンサンブル作品等が出版されている。

### メッセージ

この度は創立10周年、誠にありがとうございます。本日初演していただく組曲は、立原道造さんの詩によるものですが、作曲時には合唱団の皆さんが詩の候補をいくつか挙げてくださり、それらの詩についての熱い思いを語ってくださったことは、私にとっても貴重な体験でした。終曲の『しあわせな一日は』のみ、以前単曲で書いた作品で2018年の第1回演奏会で演奏していただきました。その練習に伺った際は、温かい雰囲気の中、合唱団の皆さんが高い意識を持って音楽づくりに取り組まれていたことが印象的でした。そのような皆さんに演奏していただけますこと、大変嬉しく思っております。

最後になりますが、合唱団 ぬっくの益々のご発展とご活躍をお祈りいたします。



### 立原 道造 (たちばら みちぞう)

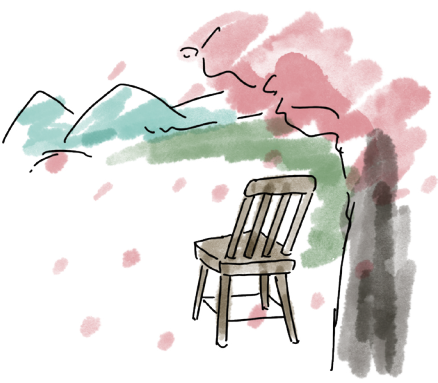
1914年、東京都中央区に生まれる。1931年、第一高等学校入学。

物語「あひみてののちの」が『校友会雑誌』に掲載され、堀辰雄の面識を得て以後兄事する。

1934年、東京帝国大学工学部建築学科入学。堀辰雄の主宰する『四季』の第二次の創刊に加わり、三好達治、丸山薫、津村信夫とともに編集同人となる。1937年、石本建築事務所に入社。第一詩集『萱草に寄す』、第二詩集『暁と夕の詩』を出版。1938年夏、肺病のため休職。1939年、第一回中原中也賞受賞。3月29日、病状急変し永眠。享年24歳。

● 春が来たなら

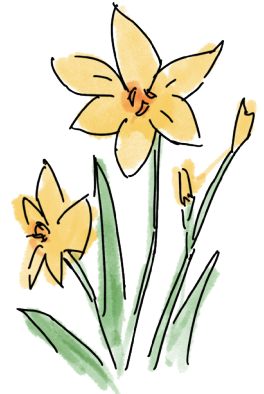
春が来たなら 花が咲いたら  
木のかげに小さな椅子に腰かけて  
ずっと遠くを見てくらさう  
そしてとよりになるだらう  
僕は何もかもわかつたやうに  
灰の色をした霽のしめりの向うの方に  
小さなやさしい笑顔を送らう  
僕は余計な歌はもう歌はない  
手をのばしたらそつと花に触れるだらう  
春が来たなら ひとりだつたら



未刊詩篇より

● ゆふすげびと

かなしみではなかつた日の  
ながれる雲の下に  
僕はあなたの口にする言葉をおぼえた、  
それはひとつの花の名であつた  
それは黄いろの淡いあはは花だつた、



僕はなんにも知つてはあなかつた  
なにかを知りたく うつとりしてゐた、  
そしてときどき思ふのだが 一体なにを  
だれを待つてゐるのだらうかと。  
昨日の風は鳴つてゐた、  
林を透いた青空に  
かうばしい さびしい光のまんなか  
あの叢に咲いてゐた、  
さうしてけふもその花は  
思ひなしたが 悔みのやうに――。  
しかし僕は老いすぎた 若い身空で  
あなたを悔みなく去らせたほどに！

『文芸汎論』第六卷第一一号  
一九三六年一一号

● 永い午後

永い午後  
町のどこよりもここでは  
太陽はやさしく人の肩を光らせ  
とほい雲に  
空のどこよりもここでは  
風はしづかに時間とじやれて  
散りしいた木の葉を焚けば  
園丁の古い口笛に  
秋のどこよりもここでは  
煙はうつすら色づいて



未刊詩篇より

● 真冬のかたみに……

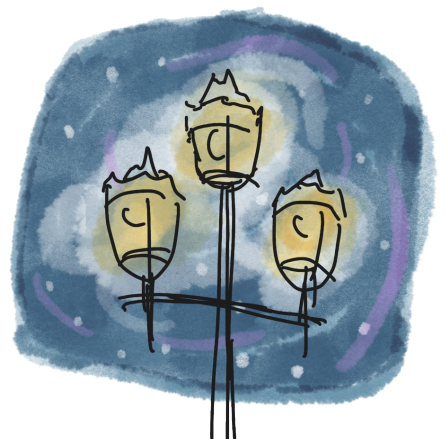
Heinrich Vogeler gewidmet

追ひもせず  
追はれもせず 枯木のかげに  
立つて 見つめてゐる まつ白い雲の  
おもてに ながされた 私の影を――  
(かなしく 青い形は 見えて来る)  
私はきいてゐる さう！ たしかに  
私はきいてゐる  
その影の うたつてゐるのを……  
それは涙ぐんだ鼻声に かへらない  
昔の過ぎた夏花のしらべを うたふ  
《あれは頬白 あれは鶺鴒 ひわ  
あれは 樅の樹 あれは  
私……私に 私は 樅の樹……》  
こたへもなしに  
私と影とは 眺めあふ  
いつかもそれはさうだつたやうに  
影は きいてゐる  
私の心に うたふのを  
ひとすぢの 古い小川のさやぎのやうに  
溢れる泪の うたふのを……  
雪のおもてに――

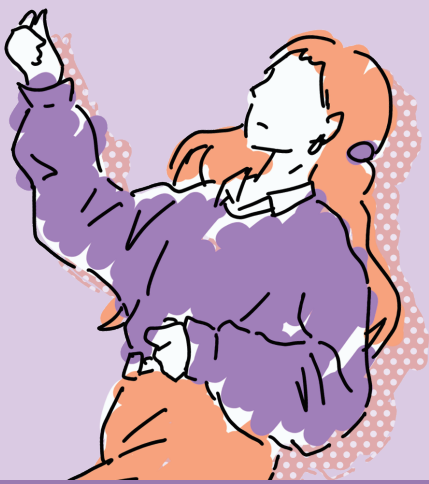
『都新聞』第一七九〇七号  
一九三七年九月十二日

● しあはせな一日は

しあはせな一日は 幾つあつたらう  
日の終り 疲れた橋に身を凭れ  
かぞへてゐれば  
霧のなかにともる燈は煌めいて  
人の数の千倍のしあはせが  
一人のためにあるのだと  
やさしい調べで繰返してゐた



未刊詩篇より



## 2nd Stage



### 10周年 ア・ラ・カルト

ぬっくでは、宗教的な背景をもった作品を好んで演奏してきました。新約聖書のルカの福音書から取られ、多くの作曲家によって曲が付けられてきたテキストである、アヴェ・マリアの作品3つを第2ステージの最初に揃えました。聖母マリアへの祈禱を、時代も地域も様々に描きます。後半は、これまた好んで演奏してきた民謡的な作品と歌い手も聴き手も楽しい作品を演奏します。

#### ● Ave Maria (おめでとう、マリア)

Jacob Arcadelt 作曲

Ave Maria	おめでとう、マリア
Ave Maria gratia plena Dominus tecum.	おめでとう、マリア 恵みに満ちたお方よ 主はあなたとともにおられる
Benedicta tu in mulieribus et benedictus fructus ventris tui Jesus,	あなたは女のうちに祝福され、 そしてあなたのお腹の子であるイエスも祝福されている
Sancta Maria mater dei, ora pro nobis peccatoribus, nunc, et in hora mortis nostræ.	神の母である聖なるマリア 私たち罪びとのためにお祈りください 今も、私たちが死を迎える時もお祈りください
Amen.	アーメン

最初の作品は、ルネサンス・フランドル楽派の作曲家、ヤコブ・アルカデルト(1505頃～1568年)によるもの。原曲は『人々は愛するためには何でもやる』というタイトルの3声のシャンソンとして発表されたもので、19世紀にアヴェ・マリアの歌詞を載せて近世風にアレンジされたものを演奏します。約300年後に生まれ、本人も知り得ない、この編曲作品が今となっては有名です。シンプルな構造ながら、印象的な明るい響きで歌われます。和声学の練習課題としても使われます。

#### ● Bohoroditse Divo (生神童貞女、喜べや)

Roman Hurko 作曲

Bohoróditse Dívo, ráduysia, obradovánnaya Mar'ye, Hospód's Tobóyu; blahoslovénna Ti v zhenáh, i blahoslovén Plod chréva Tvoyehó, yáko rodilá yesi Hristá Spása, Izbávítela dushám náshím.	生神童貞女、喜べや 恵みに満ちた方よ、マリア 主はあなたと共におられる あなたは女のうちに祝福され ご胎内の御イエスも祝福されている あなたは私たちの魂を救う者であり 救世主であるキリストをお産みになったために
---	---

2つ目は、トロントに生まれ、ウクライナにルーツを持ちながら、ニューヨークで活動する、ロマン・ハルコ(1962年～)が教会スラヴ語で書いた作品。現在も続く争いから、ウクライナの合唱作品を調べていた際に見つけたものです。ロシア正教会ではカトリックという聖母マリアではなく、「神を生んだ貞潔な女性=生神女マリア」と呼びます。一貫した口短調の響きが敬虔な祈りを映し出します。

## 作曲家コメント

本作は、「祈り・祝福・賛美」の3セクションで構成し、それぞれに色が出るように曲をつけました。後半、聖母マリアの名前を繰り返す部分などでは、ひねくれ者である私がテキストを読んだときに感じた、祈りや賛美の裏にある救済への「欲」や「神頼み精神」といった感覚を賛美的なメロディーの内に込めています。

終わりに、今回このような機会をくれた服部君と私の拙い曲を演奏してくれるメンバー、そして拝聴いただくご来場の皆様に、この場を借りて感謝を申し上げます。

最後に歌うのは、メンバーである東浩平（1993年～）の新作。ぬっくの10年を共に見てきた初期メンバー。趣味で作曲をする彼に、テキストに困っていると言われた際に、宗教的テキストを提案し、1週間ほどで出来上がった作品。三和音の明るい響きの流れを基本に、彼らしい密集した音使いが効果的に現れる良作です。

## ● 鳥唄

宮沢 和史 作詞・作曲 / 信長 貴富 編曲

でいごの花が咲き 風を呼び嵐が来た  
くり返す悲しみは島渡る波のよう

ウージの森で 歌った友よ  
ウージの下で 八千代の別れ

※ウージ：さとうきび

ウージの森であなたと出会い  
ウージの下で千代にさよなら

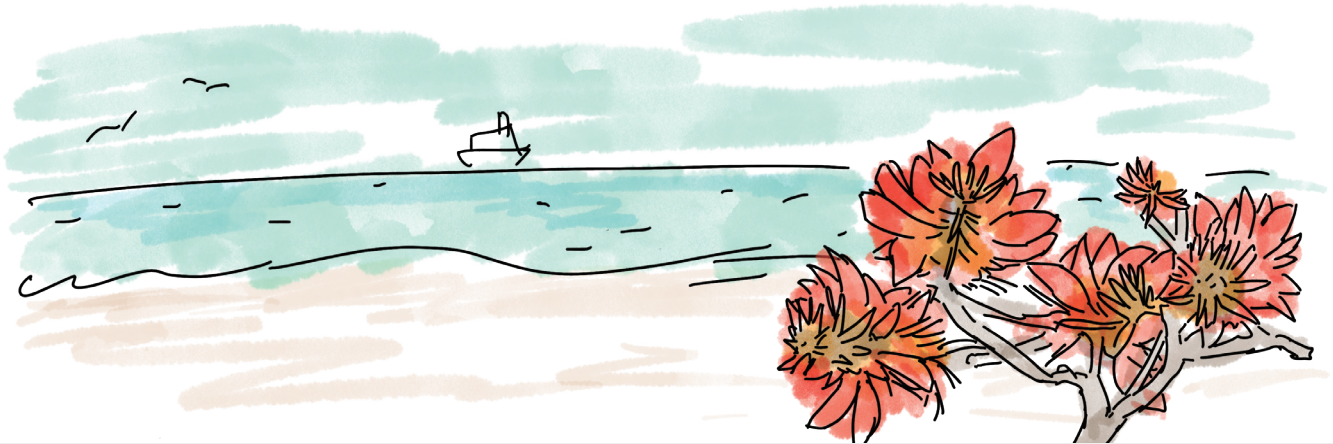
島唄よ 風に乗れ 鳥とともに 海を渡れ  
島唄よ 風に乗れ 届けておくれ 私の愛を

島唄よ 風に乗れ 鳥とともに 海を渡れ  
島唄よ 風に乗れ 届けておくれ 私の涙

海よ 宇宙よ 神よ いのちよ  
このまま 永遠に 夕風を

でいごの花も散り さざ波がゆれるだけ  
ささやかな幸せは うたかたの波の花

島唄よ 風に乗れ 鳥とともに 海を渡れ  
島唄よ 風に乗れ 届けておくれ 私の涙



ロックバンド THE BOOM が 1992 年に発表したアルバム「思春期」に収録されている曲です。太平洋戦争末期の 1945 年、民間人 9 万 4000 人を含む 20 万人もの人々が犠牲者となった沖縄戦。その記憶を語り継ぐ生き残った人々、また、犠牲になった人々への鎮魂の祈りがこの曲を産みました。沖縄では昔から、でいごの花が咲き誇る年は大きな天災や不幸が訪れると言われてきました。沖縄に戦争の影が差したのも、でいごの花が紅く咲き始めたころでした。ぬっくで度々演奏してきた作品で、YouTube チャンネルで一番再生されています。

## ● Nyon Nyon (ニヨン ニヨン)

Jake Runestad 作曲

アメリカの若手作曲家、ジェイク・ルネスタッド（1986年～）の意欲作品。ぬっくは民謡作品を好んで演奏していた時期が長くありました。その名残から、言葉にとらわれず、ノリノリになれる作品には定期的に出たいとなります。歌詞は作曲者によるオリジナルのもので、特定の意味を持ちません。人間の声で表現するからこそ味わえる、おもしろい音の風景、眼と耳で味わってください。



## 3rd Stage



### 覚和歌子の詩による横山潤子作品集

覚和歌子詩 / 横山潤子作曲



#### 横山 潤子 (よこやま じゅんこ)

広島に生まれる。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院修了。現在、合唱・室内楽作品を中心に作曲・編曲を手がけている。

#### 【主な作品集】

- ・ 同声合唱曲集：『横山潤子作品集 同声編 1・2』『ひかりのものがたり』『にぎやかな心』
- ・ 混声合唱曲集：『天の瑠璃』『いないいない ばあ』『たましいのスケジュール』『ここに海があって』『未確認飛行物体』『さんぼうげの日々』『ドゥーニのヴァイオリン弾き』
- ・ 女声合唱曲集：『笑いのコーラス』『妖精の市場』『星の迷い子たち』『青のアルバム』『その木々は緑』『ドゥーニのヴァイオリン弾き』
- ・ 編曲集：『時代』『さんぼう』『歌の翼に』『九ちゃんが歌ったうた』 他

#### メッセージ

事の発端からして私には身に余るほど斬新だった『夜明けの夢はもう惜しまない』。斬新なのはそこだけかと思いきや！ 歌詞の内容にま  
ずたじたじ。だってこれ実話に基づいて……オトギバナシじゃないだけに、自分の中の錆びた扉まで不意に開いたりもし、驚く。この詩の  
空気は決して悲嘆一色ではない筈、と思うのに、旋律は音がどんどん沈んでいき、それも訝しい。覚和歌子さん書き下ろしの連作詩という  
繋がりで少し前に書いた『ようやく朝が』でも戸惑ってばかりで。どうした私。歳のせいかな？ という本日の初演なのですよ。  
ぬっくの皆様！ ヨロシクね♪



#### 覚和歌子 (かく わかこ)

作詞家・詩人・シンガーソングライター。早稲田大学卒業と同時に作詞家デビュー。以降、平原綾香、SMAP、  
ムーンライダーズ、沢田研二らに作品を提供して数百篇をCD化。Nコン課題曲、校歌、合唱組曲など、ジャン  
ルは幅広い。詩集『ゼロになるからだ』（徳間書店）、『はじまりはひとつのことば』（港の人）をはじめ、エッ  
セイ、翻訳絵本、自唱CDなど著作多数。2001年映画「千と千尋の神隠し」主題歌「いつも何度でも」でレコ  
ード大賞金賞など。その他、自唱ライブ、朗読、映画監督／脚本、舞台演出、翻訳、米国ミドルベリー大学講師  
など、詩作を軸足に活動は多岐にわたる。

#### メッセージ

ぬっくさんから委嘱を受けて今回初演の運びとなった『夜明けの夢はもう惜しまない』。具体的な実話エピソードをお聞きしながら、久しぶ  
りに失恋をテーマに書いてみました。私は、子ども時代も青春時代もその人の中に年輪のように重なっていて、取り出そうと思えばいつ  
でも取り出せるとしています。今回も恋を手放すときの切ない痛みと晴れない空の重さがよみがえり、胸が苦しくなりました。言葉遣いがポ  
ップス寄りになってしまったことが若干の後悔なのですが、そこは魔法使い横山潤子先生に丸投げすればなんとかなるかとかたか括ります。  
何しろこれを書いている現時点では、どんな曲に仕上がったか確認できていないのです。その分、楽しみ。



## ステージ紹介

横山潤子先生の作品はとてもユニークかつ、おしゃれ！そして、暖かさがあって、とてもほっこりさせられます。なかでも覚和歌子さんの詩に書かれた合唱曲はとりわけ愛されている作品群です。素晴らしいピアノで支えてくださる宮地亜論さんとともに5曲を演奏させていただきます。

『たましいのスケジュール』の感動的な旋律の流れは、多くの合唱人を魅了しています。「われわれはどこからきてどこへゆくのか」、深く広い海の中にぼつんと浮かぶ私たち。

少年の成長模様を爽やかに歌い上げる『その木々は緑』。そこには思春期のもどかしさが含まれています。えびなユース合唱プロジェクトが委嘱した、ヴァイオリン伴奏を三好花奈さんとの再共演で。

今回、お二人に詩と曲を書き下ろしていただいた『夜明けの夢はもう惜しまない』。ある人物の失恋後の感情のせめぎあいを映し出したラブソングです。冒頭に現れるジェット機（飛行機）は遠距離の恋を繋いだ象徴的なキーワードです。

苦い想いとともに、前に進みたいと祈りながら……、続けて演奏する『ようやく朝が』。少しだけ自分を信じて、立ち向かっていく私たち。「さよなら」、「おはよう」という他愛もない言葉が心を勇気づけます。この2曲は永田歌歩さんのチェロ伴奏とともに歌います。

2021年の東京都合唱コンクールで混声版を委嘱初演した『こころのうつわ』。平仮名で書かれた詩が、他者と関わりながら揺れ動く私たちの心を無垢に描きます。その気持ちの折り重ねが波のように大きく広がり、ひとつの海になっていきます。

5曲に共通するテーマは、根底にある悲しみや痛みの流動と、それを乗り越えようとするヒトの心の動き。最後には「ありのままでもいいんじゃない？」と、ほがらかで優しいエールを送ってくださっている気がします。

ぬっくのために素晴らしい新作を書き下さった覚和歌子さん、横山潤子先生、『ようやく朝が』の再演の許可を下さった名古屋市立志賀中学校合唱部の山本高栄先生、また今回共演くださる素晴らしい奏者のお三方、この場をお借りして感謝を申し上げます。

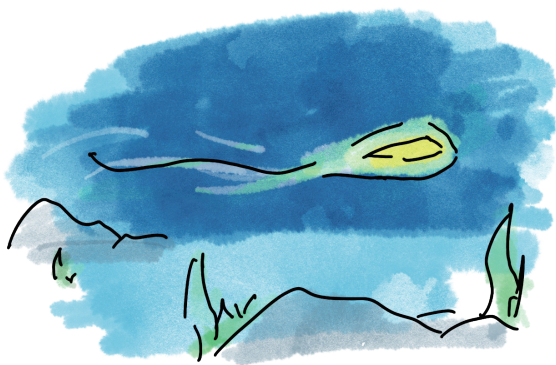
## たましいのスケジュール

青くて深い海のそこでは  
生まれ落ちるまえのたましいが  
ほのぐらい月光をたよりに  
ぶかぶかと泳いでいる

どのふうふの子どもになって  
どんな一生をおくろうか

どうしてここにもどってこようか  
のんきにただようふりをしながら  
たましいは じっくり予定をたてる

生まれたとたん きれいにわすれ  
一生をついやして 少しずつ思い出す  
いのちのことわり  
あいすること  
ただそれだけのために



## その木々は緑

その木々は緑  
まだ見ぬ明日<sup>あした</sup>にのびていく枝  
その木々の緑

走り出す朝のよろこびの色  
泣きたいわけじゃないのに  
夢によく似た光が  
ひとみのふちをこらえてる

その木々は緑  
希望の奥からこみあげる風  
その木々の緑  
育ちやまない 少年の色  
何ひとつ持たないのに  
こころを叫びにかえて  
残らず差し出したような



●夜明けの夢はもう惜しまない 委嘱初演

雲間を消えてくジェット機が  
群れをはぐれた魚に見える  
生きることはまぶしいんだ  
そう思えた日が静かに遠い

思いきり誰かを愛するために  
僕は僕のままを抱きしめる  
風がどれだけ強くても  
泳いでいくのは自分だから

心があんなに溢れるなんて  
言葉があんなに踊るなんて  
君に会うまで知らなかった

この青い空は 空の広さは どこかに  
永遠をひそめているらんだろうか

残酷なのは時間じゃなくて  
とどまっていないひとの思い

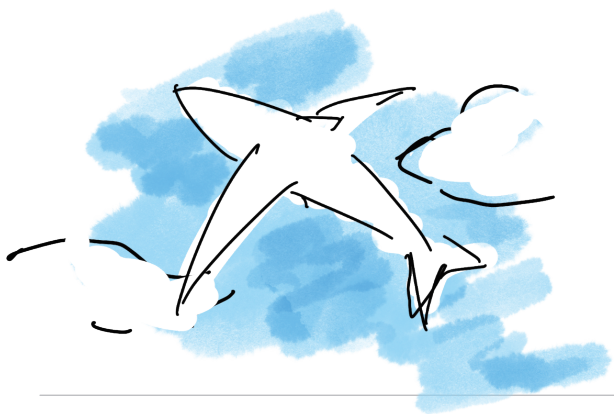
新しい距離をはさんで ふたり  
もう何も始まらないとしても  
雲間を進む翼の その先に

昨日から今日へ  
今日から明日へ  
世界はゆっくり変わっていく

まだ明日は見えてこないとしても

すり減るような投げかけと  
ためらいまじりのこたえかた  
君のほんとのしあわせについて  
どれだけ思い描けただろう

遠い影ならもう追わない  
夜明けの夢はもう惜しまない  
奪われる何かがあるうちは  
一人で立ってはいないと思う



●ようやく朝が

ペン先からぶつんと  
薄い膜をはじけるように  
ようやく朝が  
はりつめていた海のどろろき  
かじかんでいた風のどよめき  
あふれ出す

のびあがるために かみこんでいた  
はねかえすために うづくまっていた  
さよなら 昨日たち  
昨日の僕たち

こらえていた山が揺れ出す  
黙り込んでた森がふるえ出す  
歌い出す

もつと愛するために 離れていった  
もういちど出会うために ひとりになった  
さよなら 昨日たち  
昨日のわたしたち

ようやく朝が今はじまる  
取り戻すんじゃない  
ゼロ地点に立つ  
ときめきは もう待たない  
胸の高鳴りに 知らんぷりはしない  
なじんだ言葉が こんなに新しい  
おはよう

●こころのうつつわ

こころのうつつわ ひとりにひとつ  
それぞれのかたち おなじじゃないいろ  
ふちをあふれる それぞれのきもち  
わたしのあこがれが  
だれかのむねのいたみ  
だれかのえがおのまぶしさが  
わたしのせつなさ

こころのうつつわ ひとりにひとつ  
ふちをみたくして つみかさなって  
みえなくなっても  
わすれないおもいで  
そうつとふれてもらったほほ  
まふゆのここのにおい  
うまれるまえにきいていた  
こえのぬくもり

りようてでだきしめる みえないうつつわ  
どんなにちいさくても  
これがわたし  
たいせつなわたし

こころのうつつわ ひとりにひとつ  
みみをすますように のぞきこむように  
どこまでもおりてゆくなら いつかであらう  
あおきたゆとう ひかりのうみ  
しずかなみなもに ゆびをひたせば  
こころこころを うつつわにしていた  
ふちもさかいもきえて わたしたち  
ひとつのうみに むすばれるだろう  
そこでは だれかのかなしみか  
そのままたしのかなしみに  
あなたのよろこびが  
そのままたしのよろこびになる



## プロフィール

# Profile



©井村重人

### ピアノ 宮地 亜論 (みやち あるん)

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を卒業後、現在同大学4年在学中。市川市文化振興財団第5回即興オーディションで最優秀賞を受賞。第32回かながわ音楽コンクールで神奈川県知事賞、中学生の部最優秀賞を受賞し、神奈川県フィルハーモニー管弦楽団と共演。ピアノを江口玲氏に師事。ピアノ演奏以外にも作・編曲やレコーディング、映像制作など様々な分野に独学で挑戦し、活動の場を広げている。



宮地 亜論  
YouTube  
チャンネル



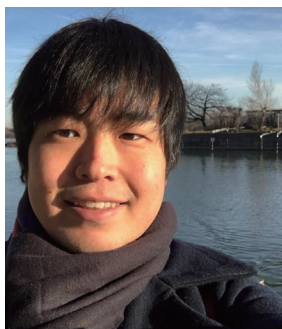
### ヴァイオリン 三好 花奈 (みよし はな)

2歳よりピアノ、6歳よりヴァイオリンを始める。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学器楽科ヴァイオリン専攻4年在学中。ヴァイオリンを尾池亜美、ジェラルド・ブーレ、清水高師の各氏に師事。2016年ユーロアジア国際コンクール第2位、第72回全日本学生音楽コンクール東京大会第3位、2018年East-West Music festival Beethoven competition in Austria シニアの部第3位(1位なし)。ピアノではこれまでに今城衣美子、奥村晃博、鈴木真貴子、阿美真衣子、黒岩航紀各氏に師事。依頼演奏、自主公演の他、他大学の研究協力、学校・自治体への訪問演奏など活動の場を広げている。



### チェロ 永田 歌歩 (ながた かほ)

9歳より鎌倉ジュニアオーケストラでチェロを始める。神奈川県立弥栄高校を経て現在は東京藝術大学4年次に在学中。これまでに福井綾、杉原捷子、花崎薫各氏に師事。第60回鎌倉学生音楽コンクール、第17回泉の森ジュニアチェロコンクールなどで上位入賞。



### 主宰・指揮 服部 純也 (はっとり じゅんや)

神奈川県海老名市出身在住。桐蔭学園高等学校理数科・日本大学文理学部ドイツ文学科卒業。日大在学中にオーストリアのウィーンに留学し、現地で様々な音楽体験をする。昭和音楽大学短期大学部合唱指導者コース卒業。現在、合唱楽譜に携わる仕事をしながら、各合唱団の指導にあたる。指揮法・合唱指導法を鈴木成夫・山館冬樹の各氏に師事。合唱団 ぬっくの指揮者を務める他、地元海老名市の中学校合唱部や神奈川県立高等学校合唱部の指導に携わり、全日本合唱コンクール関東大会や、TBSこども音楽コンクール東日本優秀演奏発表会、東京国際合唱コンクールなどの出演へ導く。2018年より、えびなユース合唱プロジェクトを主宰し、1年に一度、若い合唱人と合唱の楽しさを地元で分かち合う合唱祭、『ユース合唱フェスティバルえびな』を企画・主催している。

ぬっくの歩み

# Nukku History

2013年 ・ 第68回東京都合唱コンクール 大学職場一般部門 大学ユースの部

2014年 ・ 第16回かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト 女声合唱部門  
・ 第16回かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト 男声合唱部門  
・ はこね学生音楽祭 2014

・ 第69回東京都合唱コンクール 大学職場一般部門 混声合唱の部  
混声合唱のための「方丈記」より  
**夜もすがら** 鴨 長明 作詞 / 千原 英喜 作曲



2016年 ・ 東京 春のコーラスコンテスト 2016 一般の部 フォルクローア部門  
混声合唱のための「八重山・宮古の三つの島唄」より  
**安里屋ユンタ** 松下 耕 作曲



・ 第71回東京都合唱祭 D ブロック  
・ 軽井沢国際合唱フェスティバル 2016 はるにれコンサート①  
・ 第37回千代田区コーラスフェスティバル

2017年 ・ 第19回かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト 女声合唱部門

・ 第10回声楽アンサンブルコンテスト全国大会 2017 一般部門  
混声合唱のための「うたII」より  
**島へ** 井沢 満 作詩 / 武満 徹 作曲



・ 第72回東京都合唱祭 G ブロック  
・ アルティ声楽アンサンブルフェスティバル 2017  
・ 軽井沢国際合唱フェスティバル 2017 はるにれコンサート②  
・ 第72回東京都合唱コンクール 大学職場一般部門 大学ユースの部  
・ 第38回千代田区コーラスフェスティバル  
・ 第17回東京男声合唱フェスティバル

2018年



・ 合唱団 ぬっく 第1回演奏会  
しあわせな一日は 立原 道造 作詩 / 山下 祐加 作曲



2019年

・ユース合唱フェスティバルえびな vol.1

・東京 春のコーラスコンテスト 2019 宗教音楽部門

無伴奏混声合唱による「コルシカ島の2つの歌」より

**Diu vi Salvi Regina** (神があなたを守り給いますように)

コルシカ島の伝承歌・国歌(民族歌) / 信長 貴富 編曲



動画



・第74回東京都合唱祭 X ブロック

・軽井沢国際合唱フェスティバル 2019 はるにれコンサート

・第19回東京男声合唱フェスティバル

2020年

・ユース合唱フェスティバルえびな vol.2

～おえコラ・ぴゅあと信長貴富をうたう～

**【合同演奏】群青**

南相馬市立小高中学校平成24年度卒業生 詩/小田 美樹 作曲/信長 貴富 編曲



動画



・東京 春のコーラスコンテスト 2020 一般の部 フォルクローア部門

・コロナ禍によるリモート合唱企画

混声合唱アルバム「九ちゃんが歌ったうた」上を向いて歩こう より

**心の鐘**

荒木 とよひさ 作詞/三木 たかし 作曲/横山 潤子 編曲



動画



2021年

・「遊声」第24回演奏会 ～あそぶところ・こえあそび～ (無観客開催)

・第3回東京国際合唱コンクール カテゴリーC:ユース部門

混声合唱のための「黒人霊歌集」より

**Swing Low, Sweet Chariot**

黒人霊歌/三善 晃 編曲



動画



・第76回東京都合唱コンクール 大学職場一般部門 大学ユースの部

2022年

・ユース合唱フェスティバルえびな vol.3 ～横山潤子作品を歌おう♪～

・「遊声」第25回記念演奏会 Our Favorite Songs II

・第4回東京国際合唱コンクール カテゴリーD:室内合唱部門

2023年



・合唱団 ぬっく 第2回演奏会 -10th Anniversary-



／ 重大告知 ／

合唱団 ぬっく  
第3回演奏会

2024年2月ごろ予定

混声合唱とピアノのための「初心のうた」

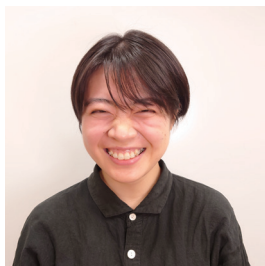
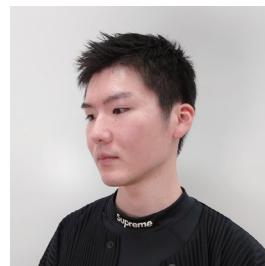
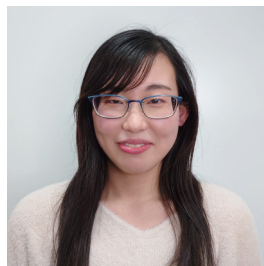
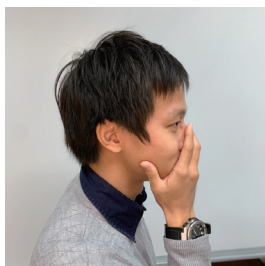
(木島 始 詩/信長 貴富 作曲)

ほか

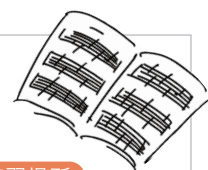


ゆっくりぬくぬくした仲間たち

# Members



合唱団 ぬっくでは一緒に歌えるメンバーを募集しています！



練習日

土曜日

18:00 ~ 21:00

平均年齢

25.2 歳

男声女声比

6 : 4

イメージカラー

オレンジ

練習場所

富士見みらい館  
麴町小学校など  
都内各所

# ぬっくNow

お問い合わせはメール、Webのお問い合わせフォーム、Twitter、InstagramのDMからどうぞ。  
練習見学、情宣などもお気軽に！

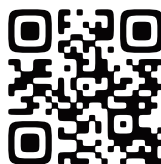
Web



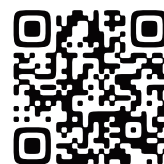
YouTube



Twitter



Instagram



音楽・舞台芸術 映像記録 ライブ配信

魅せる映像

CHUBU Video Production  
CREATIVE  
中部クリエイティブ・ビデオプロダクション

<https://chubu-creative.com/>  
サンプル動画公開中



〒394-0047 長野県岡谷市川岸中1-6-35 TEL&FAX 0266-22-3052

演奏会撮影に"A"TRAIN  
静音撮影対応  
atrain\_asami@icloud.com  
成田麻珠

Designer  
KOTARO SAITO

a2201014kotaro@gmail.com



## ● プロジェクトメンバー

【製作総指揮】  
服部 純也

【コンサートアドバイザー】  
東 浩平

【プロジェクトマネージャー】  
新井 悠利

【PR】  
関本 陽樹

【パンフレット】  
相沢 祐太郎

【会計】  
藤原 遼太、平野 耀子

## ● 当日スタッフメンバー

板垣 春人

久嶋 彩香

クプライ ブシュラ

柴田 董

永井 響子

松岡 悠太

渡部 佑有

## ● Special Thanks to

【作曲家】  
山下 祐加 様

【作曲家】  
横山 潤子 様

【作詞家】  
覚 和歌子 様

【ピアニスト】  
宮地 亜論 様

【ヴァイオリニスト】  
三好 花奈 様

【チェリスト】  
永田 歌歩 様

【ステージマネージャー】  
山本 紗葉 様

【演奏会総合デザイン】  
齋藤 幸太郎 様

【写真撮影】  
成田 麻珠 様

【映像撮影・録音】  
中部クリエイティブ 様



後援 東京都合唱連盟 えびなユース合唱プロジェクト